

みつくら

令和 8年 7月15日 第462号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

サロンで紙芝居を楽しむ

たんぼぼの会（菅原文子会長）は6月17日、九区自治公民館でさなぶりサロンを開いた。久しぶりに18人が集まり、菅原千恵子さんが石鳥谷図書館の数ある紙芝居の中から、大人に聞いてもらいたいお話「あんもちみつ」「じごくけんぶつ」「かっぱのすもう」「花嫁さん」の4話を選んで語ってくれた。千恵子さんの情感あふれる語りで、聞いている皆さんは物語に引き込まれ、最後は拍手が起こった。菅原会長は、「久しぶりの会合でしたがいかがでしたか？次回 は7月22日にいきいき講座を予定しますので多くの参加をお願いします」と挨拶し会を終了した。

記念すべき「第80回」大瀬川地区民運動会を開催

6月14日、快晴の大瀬川運動公園で大瀬川体育協会（板垣雄一会長）主催の80回目となる大瀬川地区民運動会が開催された。応援席は元プール前に八区、ブランコ前に7区、銀杏の下に九区のテントが設置された。開会式で、昨年総合の部とリレーの部で優勝した八区チームより優勝旗と優勝杯が返還され、板垣会長は開会の挨拶で「現在、町内でも名称の多くが体育協会からスポーツ協会に変更されており、当協会も来年度から名称変更を検討していますのでよろしくお願 いします。今回は記念種目を作って誰でも参加できる競技を入 れましたので楽しんで下さい」と述べた。来賓の熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長からは「部落民運動会から地区民運動会に名前を変えながら町内で一番古くから開催して80回を迎えたことは素晴らしいことです」と祝辞があった。子供達の選手宣誓のあと、全員でラジオ体操を行って競技に入っ た。小学生の徒競走はあっという間に終わってしまい少子化の現実を実感した。腰に結んだ田植え籠にボールを入れなが らリレーする「まがすなよ!!カゴいっぱいボール」では、いかに振動を抑えて早く運ぶかがミソ。「大瀬川ミニ・ロト3」は3色のボールから区長が引いたボールの色と同じ色を選べば得点になるので、1チーム10人で予め選ぶ色を決め、一か八か作戦を採用して成功したチームもあった。「玉入

れ」は僅差の戦い。「目指せ!!ホールインワン」は円周を囲みセンターゴールに見事ホールインワンして一挙に得点が入る場面も。幼児レースは参加した人数が小学生より多く微笑ましかった。言うまでもなく区対抗混合リレーは大いに盛り上がった。最後の80回記念種目「チャレンジ80歩」は、チーム8人が10歩ずつ歩き80mに近い順に得点を決め、更にボーナスくじを引いて加点となる競技だった。最終結果は7区150点、八区140点、九区152点となり、九区は久しぶりの総合優勝を果たした。リレーの部は八区が優勝した。その後八区では反省会を行い懇親を深めた。競技以外では休憩時の大瀬川音頭の輪踊りが印象的だった。以前は婦人による集団演技の位置づけだったが、今年は踊りが解る解らないに関係なく、老若男女がひとつの輪になって踊っている光景が見られた。板垣会長は閉会式で「好天の中で怪我もなく楽しく競技ができました。来年も楽しい企画を考えて行いたい」と述べた。

第二回目の草刈り作業を実施

下大瀬川美土里の会（熊谷俊彦代表）では、6月27日に構成員55人が参加して各耕作地の畦畔の草刈り作業を実施した。当日は、関東地方に2つの台風接近の情報があったが、晴天の中で午前中の作業を実施した。また、執行部より農用地の現地調査の結果、1,387㎡が田の要件を満たさない農地があり、交付金が減額となるため、金額が決定次第に地権者と耕作者に書面議決による臨時総会を開催するとの報告があった。

花巻市防災訓練に地区自主防災連絡協が参加

6月28日花巻市の防災訓練に併せて、大瀬川地区自主防災連絡協議会（板垣生栄会長）は大瀬川振興センターと各区自主防災会、各区自治公民館、千鳥苑間で防災無線通話確認訓練を実施した。訓練は8時30分市内に警戒レベル3の大雨警報が発表、9時には高齢者避難のエリアメールが発信され、各区で要支援者の避難支援の開始を行うことで各自治公民館に防災会の役員が集合し情報の確認をした。この後、市の指定緊急避難場所となっている大瀬川振興センターに16人が集合して、市災害担当職員4人から指導を受け、段ボールベッドや室内テントの組立設置の体験を行った後、グラウンド内にある市の災害備蓄品倉庫の備蓄品確認と説明を受けた。

60回となる葛丸川釣り大会が開催

葛丸川淡水魚愛護組合（菅原 昇組合長）は、6月28日に60回となる葛丸川釣り大会を開催した。前日に組合員が釣場の草刈りや清掃、ネットを設置し、ニジマス（140kgで中に体長が40～50cmが7匹）を放流した。当日は近くに熊の出没情報があり、組合員が花火や音を鳴らして開始となった。昨年より参加者が少なかったが、朝の6時から8時までで一般参加32人、子供16人、観覧者が約20人で各自自慢のテクニックで竿を下ろし、中には前日に放流した大物を釣り上げた人もいた。閉会式では菅原会長から「県内でも釣り大会を開催し

ているのが2カ所しかなくなりましたが、皆様のご協力での会が続いております」と挨拶があった。

（入賞記録）

一般の部

大漁賞	第一位	小森田 敏（花巻市）	41匹
	第二位	小森田 翼（花巻市）	35匹
	第三位	丸山 茂夫（葛巻町）	32匹
大物賞	第一位	熊谷 和也（盛岡市）	64.5cm
	第二位	佐々木 和子（滝沢市）	25.5cm
	第三位	菅原 善憲（花巻市）	25.0cm

ブービー賞

畠山 莉菜（花巻市）3匹

ジュニアの部

大漁賞	第一位	藤澤 楽生（盛岡市）	31匹
	第二位	菊池 陸琥（花巻市）	28匹
	第三位	畠山 真瑠（紫波町）	15匹
大物賞	第一位	工藤 奏汰（紫波町）	43.0cm
	第二位	日下 詩琉（紫波町）	25.2cm
	第三位	松葉 陽太（花巻市）	24.5cm

ブービー賞

松葉 葵（花巻市）1匹

レディース賞

金子 千鶴（花巻市）23匹

特別賞（受付番号が今日の28日）

（フィッシング佐藤釣具店提供）
佐々木 和子（滝沢市）11匹

千鳥苑で避難訓練

7月1日に千鳥苑（社会福祉法人寿水会・入居者18人）では、避難訓練（年/2回）を実施した。今回は県内内陸部を震源とした大地震が発生、館内が一時停電しその後ボイラー室から火災発生を想定して、入居者のスムーズな避難が行われた。内容は、防火設備点検業者の協力を得て実際に火災報知器を作動させ、一階から三階までの入居者が職員や防災協力員の誘導のもと非常階段を使い駐車場へ避難し、入居者と職員の人数確認を行い、施設長に報告をして終了した。また、防火設備点検業者の指導のもと全職員と防災協力員が模擬消火器を使った消火訓練と発電機の使用確認も行なった。

7区自治公民館で花植え

6月7日に第7区自治公民館（菅原崇将館長）では、「環境整備事業」として曇り空の中、ふれあい花壇2箇所の花植え、公民館敷地内の草取り・草刈り作業を行った。板垣孝信副館長の挨拶の後、今年の当番となっている3班の方々と役員14人でアゲラタム青紫色、マリーゴールド黄色と橙色、ペゴニア桃紅色と白色をそれぞれ100本ずつの計500本を植栽し、花壇の前で記念写真を撮り整備事業を終了した。

みつくら 令和 8 年 7 月 1 5 日 第 4 6 2 号 発行 大瀬川活性化会議 編集 「みつくら」編集委員会 花巻市石鳥谷町大瀬川 1 0 - 4 5 - 2 大瀬川振興センター 電話 4 5 - 6 4 7 2 “お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”	長さんが来てこちらでも挨拶があった。 4 班（熊谷雄市行政班長）では不幸があり中止となり、3 班（板垣賢仁行政班長）は 5 月 3 日に花見と年祝いを合わせて行っている。	計報 ○田屋家の熊谷茂さんは 6 月 1 5 日に 9 3 歳で亡くなられました。熊谷さんは紫波町水分の出身で、大瀬川のみならず、地域にも多く貢献なされた方でした。3 4 歳の時に石鳥谷メリヤスの創業に寄与して専務になられ、また 4 0 歳の時には石鳥谷温泉を「一の留」脇に発掘した一人として名を馳せ、常務取締役も長く担われました。当時の大瀬川温泉の大株主は熊谷茂さんや、藤原光三さん。菅原昭二さん達の名が記録に残っています。 他には 5 1 歳から 1 2 年間石鳥谷町議会議員を担われ、このころは大瀬川運動公園所長や町森林組合、花巻地域農業共済組合など十指に余る公職（役員）で活躍されたのには感謝に堪えません。そうそう、大瀬川奴踊りを復活させたのも熊谷さんでした。 熊谷さんは趣味も多彩で、囲碁や川柳でも著名な方でした。特に岩手日報の川柳には 2 0 年間に新聞切り抜きだけでも 3 1 作品が掲載され、実際には倍以上とお聞きした事があり、。その日報川柳では幾度も特選に選ばれていました。長い間私たちがお世話になりました熊谷さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 ○中ノ家の菅原サツさんが、6 月 9 日に 9 6 歳で亡くなられました。菅原さんは新堀出身で、芳男さんと結婚後に道義さんと武蔵さんを育てました。ご主人の芳男さんは、出稼ぎで二北酒造（青森、百石）、また、夏には製材所の「ななとり」や「先き巻き」、石鳥谷メリヤス有限会社では縫製機械の修理を担当したほかにも、地区の役員も沢山こなしており家庭のやりくりはサツさんが行っていました。石鳥谷メリヤス有限会社では編み物担当と一緒に働き、産直「うめなっす」のときは、きりせんしょうを作り販売していました。きりせんしょうはとてもおいしくて皆さん喜んでいました。趣味は夫婦揃ってカラオケで、サツさんはいつも北島三郎の「山」や「川」を歌っていました。 特に好きだったのはゲートボールで、9 0 代まで活躍して大会では何度も優勝し、メダルをもらったときには大変喜んでいたそうです。仲間たちとの交流を大切にし、人とのつながりを大切にした菅原さんの姿は、多くの人の記憶に温かく残り続けることでしょう。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
歌声が響き紙飛行機も飛んだふれあいサロン あじさいの会（板垣福子会長）は 6 月 3 0 日に大瀬川振興センターで「ふれあいサロン」を開催し 2 5 人が参加した。 本年度から市の出前講座に新規登録した上野洋介さんを講師にお願いしたところ、今回が初めての講師活動が心配なので時々一緒に活動しているボーカルの小瀬川さんと電子ピアノの佐藤さんに応援をお願いしたとのこと。上野さんらは、誰もが知っている曲や歌える愛唱歌を選んでモニター画面に映し、「ふるさと」「上を向いて歩こう」「四季の歌」など 1 0 曲以上を全員で歌った。最後は朝ドラ『朝が来た』のテーマ曲「3 6 5 日の紙飛行機」を歌う前に全員に紙飛行機を折るための紙が配られた。折り方が中々思い出せないうちに予定時間となり、最後の歌は少しだけとなった。そんな中、板垣邦博さんはツバメ飛行機（懐かしい）を折って飛ばした。懐かしい曲を歌った楽しい 1 時間 3 0 分がアツという間に過ぎて、参加者はお弁当を手手に解散した。	大瀬川で重症の交通事故 7 月 3 日の 2 3 時に市道大瀬川 2 3 3 号線（石鳥谷ふれあい運動公園～大瀬川公葬地入口）と県道 2 8 5 線（盛岡市中ノ橋～石鳥谷町北寺林 3 地割）の交差点で出会い頭に東進中の車と南進中の車が衝突、東進中の車の助手席に乗っていた男性が腰部骨折の重症、南進中の車に乗っていた男性が胸部打撲でそれぞれ病院に搬送された。 大瀬川地内での人身事故は、丁度同じ場所で起こった令和 3 年 1 2 月以来 4 年 7 ヶ月ぶり。この交差点は見通しが悪く平成 2 0 年以降 3 回目で、何れも重傷事故が起きている。	編集室から やはりマスコミ報道の力は凄いもので、尾平にある「大瀬川原生花菖蒲園」の記事が岩手日報に掲載された日から、たくさんのお問合せや訪問が相次ぎ、東京から訪れた人もあった。群生地の方がわかりにくいこともあって、大瀬川振興センターや菅原得之さんに対応に追われた。いつもは鳥の声が聞こえている静かな尾平に見物の車が 1 0 台以上止まっていた。今年野点の会は諸般の事情により残念ながら中止となっている。
第八区 1 班・2 班で年祝いと早苗饗（さなぶり）を開催 6 月 2 0 日に八区 1 班（玉山敦行政班長）では紫波グリーンホテルで 2 6 人が参加して早苗饗と年祝いが行われた。玉山さんが「今年は天候に恵まれて田植えも順調に進み、今日は久々の顔を見ながら懇親を深めてください」と挨拶した。歳祝いに当たる 5 人の方々が紹介され、続いて今年度から区長になった来賓の板垣生栄さんから「不慣れな区長ですが、皆様に頼りになる様に努力しますので宜しくお願いします」と挨拶を頂き懇親会に移った。 同ホテルの別会場では八区 2 班（板垣厚行政班長）2 2 人が参加して 2 年ぶりの年祝いと早苗饗が、1 班から 2 時間遅れで始まった。こちらでは年祝い対象者 7 人に記念品が贈られ、板垣班長さんから「私は大瀬川の住人になって 5 年目で地域の事には不慣れですが、皆様に教えられて行きますので宜しくお願いします」と挨拶があった。乾杯は、昨年度は不幸が続き中止したので前班長の板垣武美さんが音頭を取り懇親会に入った。途中で 1 班に呼ばれていた来賓の板垣生栄区	「葛丸の農村環境を守る会」で畦畔一斉草刈り始まる 葛丸の農村環境を守る会（板垣幸夫会長、構成員 2 1 2 世帯）では、6 月 1 日から畦畔一斉草刈りを行っている。期間は 7 月 3 1 日までの 6 1 日間。一日当たりの出役者が多い時には 3 9 人が出役したが、7 月 4 日現在は 2 0 人前後で推移している。 令和 8 年 6 月号の「農地・水通信」に、令和 7 年度における農地・水団体の「作業事故」が掲載されていたが、「蜂刺症」が最も多く、次いで「草刈り時の怪我」となっていた。過去の事例では、草刈り機に付いている肩掛けバンドをはずして作業したことによる怪我也見受けられた。これからの作業は暑さにも気をつけなければならない。気を緩めず作業に当たりたいものだ。	
	熊の出没が相次ぐ!! 最近大瀬川地区でも熊の出没情報が多くなっている。携帯電話の花巻市熊出没 LINE 情報によると、7 月 3 日 1 3 時に大瀬川 1 6 地割（第九区自治公民館付近）で、7 月 6 日 8 時 2 0 分頃に大瀬川 1 2 地割内（五所森東付近）で、その後 1 2 時 5 0 分頃には北寺林 1 1 地割（ふれあい運動公園付近）と情報が出ていた。その他にも、6 月 2 8 日の釣り大会会場付近の大穴と呼ばれる場所に出たので主催者は警戒しながら実施した。 大瀬川振興センターには、「ツキノワグマのたいさく」と書かれた花巻市役所からの黄色いパンフレットが置かれており、Ⅰ、餌になりそうな物はありますか？・小屋や作業場の戸締まりをしていますか？・自宅の戸締まり施錠していますか？Ⅱ、目撃・痕跡などの通報先は花巻市役所 ☎ 0 1 9 8 - 2 4 - 2 1 1 1 と花巻警察署 ☎ 0 1 9 8 - 2 3 - 0 1 1 0 へ Ⅲ、万が一襲われた際は ☎ 1 1 9 へ Ⅳ、補助金については、電気柵の購入補助・放任果樹（柿・栗）の伐採費補助・クマ撃退スプレーの購入費の補助をするので市役所へお問合せ下さい。と書いてあった。何れにしろ、住民への注意喚起のためにも、目撃や痕跡があった時はすぐに通報をお願いしたい。	

